

主催：研究・イノベーション学会関西支部 共催：日本設計工学会関西支部

第 10 回研究会 (第 143 回) のご案内

今回は、年間研究テーマ「イノベーションと地域創生」のもと、大学・研究機関を中心とする地域創生について、日・印の大学の連携と免疫学・創薬に貢献する国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所の取り組みについて企画しました。皆様方多数のご参加を期待します。

趣旨：最初に、振興著しいインドの Pune 市に在住し、そこを拠点に大学講師を務めながら日・印関係のフリーランスのアドバイザーとしてビジネスや学生交流にご尽力される、元インドシャープ社長 磯貝氏の帰省に併せ、日・印を企業人としてだけでなく文化交流など様々な形で交流を深める事業に取り組んでこられた視点から、最新のインドの現状(北東地域を含む)をご報告いただくとともに、大学を中心とした地方創生についてあり方を探ることとしたい。また、本庶佑・京都大特別教授が癌免疫療法の発展に貢献したことによるノーベル医学生理学賞受賞により脚光を浴びている免疫学を中心に、創薬に AI の技術を導入する等のイノベーションについてお話を伺い、医薬基盤・健康・栄養研究所等研究機関を中心としたイノベーションと地域創生を探ることとしたい。

講演会プログラム：

14:10~15:10「日本の将来はインドしかない！～日本の将来のために今からなすべきこと～」

日印関係アドバイザー、Ajeenkya D.Y.Patil University 経営大学院 非常勤講師
インド在住 磯貝富夫 氏

15:20~16:20「薬学のイノベーション」

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所バイオインフォマティクスプロジェクト
上席研究員、英国インペリアルカレッジロンドン医学部名誉講師 伊藤真里 氏

16:20~16:55 総合討論

17:00~18:00 交流会 会場 2F/207 号室

開催日：令和元年 6 月 5 日 (水) 14:00~18:00

会場：大阪電気通信大学駅前キャンパス (京阪寝屋川市駅 3 分) 6F/大教室

参加費：1,000 円 (交流会費とも) 当日、会場にて頂きます。

参加申込： [第 10 回研究会] と明記の上、お名前、所属、及び交流会参加の有無を

下記の E-mail または Web サイトにてお申込み下さい。

(申込先)：研究・イノベーション学会関西支部

副支部長兼支部事務局の長 西原一嘉、E-mail:nisihara@osakac.ac.jp

大阪電気通信大学 駅前キャンパス アクセス

〒572-0837 寝屋川市早子町 12-16 Tel : 072-824-8900

京阪本線寝屋川市駅下車徒歩3分、下記地図参照

<http://www.osakac.ac.jp/institution/campus/access/>

